

# 山形県

Yamagata



# 山の向こうのもうひとつの日本

問いを立てよう。答えを探しに行こう!

## 探究するなら山形県

やまがた「探究型・SDGs」教育旅行



東北地方の南西部に位置する山形県は、元駐日大使エドウィン・O・ライシャワー博士によって「山の向こうのもう一つの日本」と称されました。

国立公園や国定公園に指定されている美しい山々に囲まれ、「母なる川」として親しまれている最上川が県内を貫流し、各地に恵みの源を供給しています。県土の約72%を森林が占めており、豊かな自然は忘れかけていた日本の原風景を思い出させてくれます。また、全ての市町村に温泉が湧き出ている全国唯一の県で、どの地域でも気軽に温泉を楽しむことができます。県内には、そんな山形の豊かな土地柄を活かしたバラエティ豊かな体験が満載です。



### 山形県に関する教育旅行の問合せ

山形県教育旅行誘致協議会

(公益社団法人山形県観光物産協会)

〒990-8580

山形県山形市城南町1丁目1-1霞城セントラル1階

TEL: 023-647-2333

FAX: 023-646-6333

Mail: manabi@yamagatakanko.com

### 山形県教育旅行サイト

問いを立てよう。答えを探しに行こう!

## 探究するなら山形県

やまがた「探究型・SDGs」教育旅行

探究するなら山形県

検索

<https://yamagata-manabi.com>

**やまがた「探究型・SDGs」教育旅行シート**

**事前学習 問いを立てる**

- 1 山形といえば? 山形のイメージ?
- 2 山形で何を学びたいですか?
- 3 どんなテーマや「問い」を立てて旅行に臨みたいですか?

↓

**現地学習 答えを導く**

- 1 旅行で一番印象的だったことは?
- 2 どんな発見や気づきがありましたか?
- 3 山形のひととの会話で一番思い出に残っているのは?
- 4 訪れて初めて分かった「山形の良さ」は?

↓

**事後学習 振り返り上げる**

- 1 事前に立てた「問い」の答えは見つかりましたか?
- 2 旅行を通じて、どんなことに興味を持ちましたか?
- 3 将来に向けて、どのように生活していきたいですか? また、どんな自分になりたいですか?

# 山形エリアマップ

# 山の向こうのもう一つの日本「山形県」

## 庄内エリア

海・山・里の恩恵を受けた豊饒の地の  
素晴らしい景色

出羽富士とも称される烏海山に山岳信仰の霊場出羽三山、夕日が映える茜色の庄内浜、稲穂揺れる庄内平野。城下町鶴岡と漆町酒田を中心に、海・山・里がバランスよく共存しています。



## 最上エリア

悠々と流れる最上川  
城下町の心意気と雪国文化にふれる

山形でも指折りの豪雪地帯、最上。巨木や金山杉など豊かな森林資源や清流、そこで採れる山菜や川魚といった山間地の文化が、雪とともに育まれています。



## 置賜エリア

街道の要衝に葡萄が実り  
城下町にとりどりの花満ちる

優れた智将によって築かれ、かつ護られた米沢城下。端正な街並みを囲むように田園地帯が広がり、葡萄が実り、山へ分け入れれば秘湯が。夏山登山やトレッキングも楽しめます。



## 村山エリア

盆地の四季、その鮮やかな移り変わりが  
米どころ、酒どころ、果樹王国をつくる

山地や森林の面積が多い山形で、村山盆地の扇状地や自然堤防はさくらんぼをはじめとする果樹の栽培に最適。自然美はそのまま山寺や蔵王の佳景へと繋がります。また、四季折々の果物狩り体験も可能です。



# やまがたが誇る「日本遺産」



## 「山寺が支えた紅花文化」

【教育旅行体験プログラム（一例）】  
・山寺（立石寺）、紅花資料館、紅花染め体験 等



## 「自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』

～樹齢300年を超える杉木につつまれた  
2,446段の石段から始まる出羽三山～

【教育旅行体験プログラム（一例）】  
・山伏修行体験、羽黒山五重塔、宿坊宿泊体験 等



## 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

【教育旅行体験プログラム（一例）】  
・酒田市内まちあるき（自主研修）、山居倉庫見学 等



## サムライゆかりのシルク 日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ

【教育旅行体験プログラム（一例）】  
・松ヶ丘開墾場、致道館、多層民家（田麦俣集落）見学 等



JAPAN HERITAGE  
日本遺産

## 探究型教育旅行

### 事前学習：問いを立てる

▶生徒ひとりひとりが旅行を通じて何を学びたいか、そのためにはどのようなテーマを設定し、どんな計画を立てるか考え、クラスやグループ等で話し合い、そのテーマに向けて旅行に臨む。

### 現地学習：答えを導く

▶旅行中は、自らが立てた「問い」に対し、どのような発見や気づきがあるか。体験や見学、地元の人との交流を通じ、机上だけでは分からない「五感」を使った感動体験

### 事後学習：掘り下げる

旅行を振り返り、どのような気づきや学びがあったか。自らが立てた「問い」に対し、どのように答えに導くのか。またそれをどうやって表現するか考える。

⇒「旅行前～旅行中～旅行後」一連のストーリーとして臨む、気づきと学びのある教育旅行

## SDGs教育旅行

▶新学習指導要領の前文・総則に記載 ⇒「持続可能な社会の創り手となる」

▶社会の一員としての役割を考える ⇒自分たちが社会のために何ができるか

▶そのためには現在どのような問題があるかを知る ⇒「関心をもつ」「社会とのつながりを見つける」

## 「探究型学習」教育旅行のご提案



なせば成る～鷹山公の教えから学ぶ「現代のSDGs」～



自ら率先して改革を実践した、第九代米沢藩主・上杉鷹山。その功績は経営学やリーダー論において高く評価されていますが、現代のSDGsにも通じるものが数多くあります。

### 事前学習

- ・自分たちは何ができる？何を作りたいか？SDGsのどの目標項目につながるか考える。
- ・具体的にイメージするために鷹山公の事例を調べる。

### 現地学習

- ・事前学習を深掘りするために米沢を訪れ、鷹山公の取組みはどのようなものがあるか、またどのように米沢の地に受け継がれているか見聞きすることで発想力を高める。

### 事後学習

- ・視察や体験内容を参考にしながら、自分たちは何ができるか？何を作りたいか？に戻って具体的に固めていく。
- ・実践（プレゼン発表、行動など）。

# 「探究型学習」教育旅行のご提案



## 俳聖 松尾芭蕉「奥の細道」の足跡を辿る



俳聖松尾芭蕉が旅した「奥の細道」ゆかりの地を訪れ、その風景や詠んだ句について考えることができます。また、松島や平泉などとも合わせてコースを組み立てることもできます。

### 事前学習

- ・俳句の概要、歴史、特徴、技法、著名な俳人などについて調べる
- ・松尾芭蕉について学ぶ
- ・「奥の細道」の全行程、また、山形県内の行程を知る
- ・山形県で詠んだ句について調べるとともに、その句の意味や情景を知る

### 現地学習

- ・芭蕉が俳句を詠んだ場所、ゆかりの地を訪れ、改めてその句の意味と背景を知る  
(立石寺・芭蕉清風記念館・最上川舟下り・出羽三山 等)
- ・芭蕉に思いを馳せ、それぞれの地で俳句を詠み、俳句に親しむ

### 事後学習

- ・詠んだ俳句を発表し合い、意図を推理し感想を述べ合うことで俳句に親しむ
- ・旅行を通じ、自分なりの「奥の細道」(紀行文)を作成する

# 「探究型学習」教育旅行のご提案



## 米どころ山形で生まれたブランド米「つや姫」「雪若丸」を研究する



### 事前学習

- ・日本各地にある「ブランド米」を調べる
- ・山形のブランド米「つや姫」「雪若丸」とは？
- ・ブランド米として人気がある理由
- ・ブランド米が生まれた「山形の環境や風土」について

### 現地学習

- ・「つや姫」「雪若丸」誕生のルーツを知る
- ・農業施設を見学する
- ・農業体験を通じ、生産者の「思い」「喜び」「苦勞」などを聞く
- ・「食育」について考える

### 事後学習

- ・自分たちの身近なところにあるブランド米について調査し、「つや姫」「雪若丸」と比較研究する
- ・地元の米づくりについて調べる
- ・米の消費拡大について考える
- ・農業振興、将来の農業のあり方について考える



# 「探究型学習」教育旅行のご提案



## 農家民宿・民泊と農業体験を通じ、農山村の暮らしを学ぶ



各受入家庭ごとと農作業体験や家庭での作業、民泊体験を行います。受入家庭との交流を通じ農山村での暮らしの現状を知るとともに、家族や地域の協力の重要性を感じることができます。

- 事前学習**
- ・山形県の気候や風土について
  - ・山形県の農業について
  - ・山形県の伝統料理について
  - ・稲作、野菜、果樹等農業大国である理由についての調査 など

- 現地学習**
- ・農家での宿泊を通じ農山村の暮らしを体験する
  - ・農作業体験を通じ「農業」について五感で学ぶ
  - ・郷土料理づくりで山形の文化を知る
  - ・各受入家庭で家族とふれあう など

- 事後学習**
- ・自分たちが住んでいる土地と山形の農業の比較
  - ・気候や風土の違いによる作物の違いや特性を知る
  - ・収穫した作物を使ったレシピの開発
  - ・バザー等を通じ継続した交流
  - ・農業の将来を考える
  - ・過疎化、高齢化等地方が抱える問題の課題解決 など

# 「探究型学習」教育旅行のご提案



## やまがた森林（モリ）ノミクスを学ぶ ～森との共生から森林資源の利活用へ～



植樹の様子

間伐の様子

- 事前学習**
- ・「やまがた森林ノミクス」とは何か？
  - ・森林の重要性について学ぶ
  - ・森林の現状と課題を知る
  - ・森林の多面的機能について学ぶ

- 現地学習**
- ・「やまがた森林ノミクス」の取り組みについて学ぶ
  - ・「植樹」を通じ後世に残る体験を行う
  - ・「間伐体験」でその必要性を知る
  - ・「林業体験」を通して森林に親しむ
  - ・キノコや山菜等、森の恵みを食する
  - ・森林トレッキング等のアクティビティ体験
  - ・木質バイオマス施設の視察見学



高性能林業機械の作業

木質チップ工場

- 事後学習**
- ・森との共生について考える
  - ・森林資源の利活用について考える
  - ・生態系の保全と動植物との共存について考える
  - ・森林保全、環境問題について考える
  - ・将来のエネルギー問題について考える
  - ・林業振興を通じ地域活性化について考える

# 「探究型学習」教育旅行のご提案



## 世界一の「クラゲ水族館」と自然体験を通じて海洋資源の保全を考える



クラゲの展示種類が世界一を誇る「鶴岡市立加茂水族館」。館内見学や学習会を通してその生態を学びます。また、温海地域では拾い集めた海岸漂流物を使ったクラフト体験や、観察が目的の地曳網漁体験を行い、海の豊かさや海洋保全について考えます。

### 事前学習

- ・現在、海洋の機能や生態系にどのような問題や課題があるのか、海洋資源の保全のために自分たちは何ができるか考える。
- ・庄内は海の幸が豊富。その理由とそれを活かす取り組みを知る

### 現地学習

- ・加茂水族館の視察見学を通じクラゲや海洋生物の生態について学習する。
- ・現場に足を運び調査やヒアリングを行い、現地でしか得られない生きた情報を収集する。

### 事後学習

- ・海洋資源の保全や、暮らしと海との関わりについて考えるほか、豊かな海づくりのために何ができるか考える。
- ・海を利用した経済活動について考える。

# 「探究型学習」教育旅行のご提案



## 蔵王でのスキー修学旅行と共に、「樹氷」ができるメカニズムと環境問題を学ぶ



抜群の雪質と変化に富んだゲレンデコースでのスキーレッスンに加え、独特な気象条件によって発生する樹氷を間近で鑑賞しそのメカニズムと環境問題を学ぶことができる、蔵王ならではのプログラムです。

### 事前学習

- ・「樹氷」とは何か
- ・なぜ蔵王で樹氷ができるのか
- ・蔵王の樹氷の現状について知る
- ・地球温暖化の現状と防止に向けた取り組みや課題について学ぶ

### 現地学習

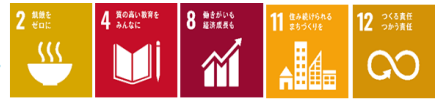
- ・現地インストラクターの指導により、各自のレベルに合ったスキーレッスンを受ける
- ・本物の樹氷を自分の目で見てみる
- ・現地ガイドから樹氷について学ぶ
- ・樹氷のメカニズムを観察する
- ・雪とふれあうことにより、生活環境の多様性を学ぶ

### 事後学習

- ・身近な環境問題について考える  
(例) 地球温暖化 ・ 環境保護  
異常気象による自然災害 など



# 「探究型学習」教育旅行のご提案



## 地方の課題を希望に変える「ヤマガタデザイン」で持続可能なまちづくりを考える



地域全体の課題を事業としてデザインし、解決するために各種事業を行っている民間企業の地方創生最前線の取組みを通し、前例にとらわれない発想と柔軟な思考で地域課題を解決する能力や新たな課題にも積極的にチャレンジする精神を養います。

### 事前学習

- ・地方が現在抱えている問題や課題は何か
- ・その問題は何が原因となっているのか
- ・山形県、特に庄内地域の農業や観光、産業等について事前に調べ、特色について知る
- ・持続可能な地域づくり・まちづくりとは何か

### 現地学習

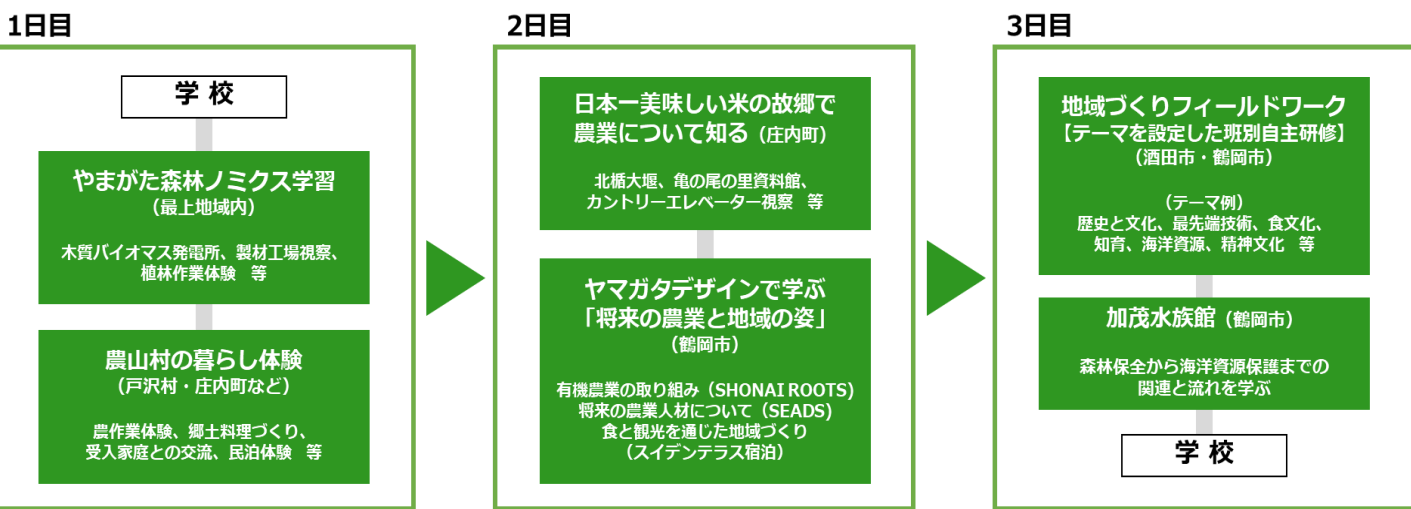
- ・ヤマガタデザインが展開する各種街づくり事業を肌で感じ、地域にある資源を活かし、課題を解決する事業の構築を学ぶ。

### 事後学習

- ・地方が抱える問題に対し、どのような方策が重要か、そのために何が必要か、自分は何ができるか考える
- ・自分の住んでいる土地の「まちづくりグランドデザイン」を考え、発表する
- ・自分たちが暮らし続けていきたい町のあり方について考える

## 【探究型・SDGs教育旅行】モデルコース（例）

### 探究テーマ【農林業の現状を体感し、未来にときめく地域づくりを考える】



### ▶期待できる学習効果

- 生徒自ら問いを立て、体験・交流・視察・フィールドワーク等五感をフルに生かし、課題解決力を養うことができる。
- テーマを設定することで農林業の現状から将来像、地域づくりについて「見える形で」学ぶことができる。
- 自分が暮らす場所に置き換え、どうすれば地域が活性化するか考えることができる。